

各学年にTVセットを送りました。

4月に1台ずつ、野蒜小学校と蛇田小学校にTVやDVDを設置してきました。学校との交流活動に使われたり、体育館の避難所で映画鑑賞をしたり、大活躍ですが、野蒜小学校は津波に飲まれて何もかもなくなり、1台ではどうにもならないため、追加の要請がきました。

仮校舎での授業ですが、各学年に一セットずつのTVとDVDレコーダー、耐震用専用台があれば、授業に役立つとのことで、6月にTV・DVDを6台お送りしました。1セット分はドイツのKind & Kegel Eichwalde e.V.からの支援金です。

たとえ、今後新校舎が建っても、施設は皆さまの善意でそろえなければならないようですので、現在設備のリストを先生に作成して頂いています。

私たちは、理科教室では実験ができ、音楽教室では楽器がありステレオがあり、体育館では運動ができ、皆が集まって、学習発表会や、入学式、卒業式が出来ることが当たりまえでした。日本の学校には運動場には遊具やバレー、バスケット、サッカーなどのゴールが設置され、ボールも十分にあります。

被災学校は、現在ハート・オブ・ゴールドが支援しているカンボジアの小学校とよく似た状態です。

被災した学校はこれから少しずつ設備をそろえていきながら、物のない中で工夫して勉強をしていかなければなりません。



私たちも、継続して、できることを協力していきたいものです。

現在すぐに施設を送るには場所がありませんが、今後新しい校舎が建った時に備えて、皆さまのご支援を形にしていきたいと思っておりますので、また、必要な物資や設備をお知らせしますので、物資、支援金など、お申し出ください。皆様の善意がわかりやすい形で子どもたちの毎日に役立ちます。